

## ■5月21日

## 国交省、トルコと航空協議、成田乗り入れ倍増、名古屋の枠組み設定

国交省は20日、5月14日から16日かけて行われた日本とトルコとの航空当局間協議で、成田と中部の増枠などについて合意したと発表した。

現在は、日本とトルコ側それぞれに週28便とし、そのうち7便を成田に限定していたが、この成田の7便を14便に増加。中部については、これまで明確に上限を定めていなかったが、増便の意向が示されたことから週7便を枠組みとして定めた。また、コードシェアの完全自由化も実現した。

日刊航空によると、国交省は、各国とオープンスカイを進めるスタンスだが、「戦略的」に交渉していくとしており、相手国によっては自由化協定を結ばないこともある。成長戦略としてオープンスカイを積極的に推進することを決めた2010年以降でも、UAEやカタールとは、成田乗り入れ便数など輸送力の増加を行うのみでオープンスカイは締結しなかった。トルコも含めてこれらの国々は、イスラム圏ということと、自国に強力なハブ空港を持ち、その国の航空会社が「第6の自由」を武器に大きく成長していることなどが共通している。

(トラベルビジョン)5/20

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57618> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57618>)

(日刊航空)5/21

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

(国交省プレスリリース)5/20

[http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku03\\_hh\\_000207.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku03_hh_000207.html) (-> [http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku03\\_hh\\_000207.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku03_hh_000207.html))

## 法務省-有識者会議、出入国審査迅速化、自動化ゲートを増設

法務省の有識者会議「訪日外国人2500万人時代の出入国管理行政検討会議」は20日、出入国審査の迅速化を求める提言書を谷垣法相に提出した。

テロや犯罪の恐れがない来日外国人をトラステッド・トラベラー(信頼できる渡航者)に認定し、入国審査官の面接なしに「自動化ゲート」で出入国を可能にすることが柱だ。

これを受け、法務省は現在、成田、羽田、中部国際、関西国際の4空港に計16台ある自動化ゲートについて、来年度に成田、羽田両空港で24台増設(24台は現在、実験的に使用中)し、計40台とする方針を固めた。

(読売新聞)5/20

<http://www.yomiuri.co.jp/politics/news/20130520-OYT1T00701.htm?from=ylist> (->

<http://www.yomiuri.co.jp/politics/news/20130520-OYT1T00701.htm?from=ylist>)

## 山口銀行系シンクタンク、東京への移動手段、航空へシフト傾向

山口銀行系のシンクタンク「山口経済研究所」は、山口県内企業を対象に実施した東京出張の交通手段を問うアンケートの結果をまとめた。上京機会がある約200社の中では、山口宇部空港(宇部市)の利用が4割強でトップ。岩国柳井地域では、昨年12月に開港した岩国錦帯橋空港(岩国市)の利用が4割を超え、新幹線や他空港からのシフトがみられた。

中国新聞によると、全体では、山口宇部空港の利用が44・9%、新幹線が36・9%、岩国錦帯橋空港が7・3%で続いた。前回2010年11月の調査に比べ、山口宇部空港は3・0ポイント増えた一方、新幹線は8・3ポイントダウンした。

また、地域別では、岩国柳井地域(30社)で新幹線が50・0%、岩国錦帯橋空港が45・0%、広島空港が5・0%と続き、陸路と空路が拮抗。10年と比べ新幹線は23・4ポイント減、広島空港は18・1ポイント減と、それぞれ大幅にダウンした。

同研究所は2002年11月以降、約2年ごとにほぼ同じ県内企業を対象に、東京出張の手段を調査。6回目の今回はことし2月に実施。

(中国新聞)5/20

<http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn201305210002.html> (-> <http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn201305210002.html>)

#### 大韓航空、青森—仁川線、7月以降運休検討

大韓航空が青森—ソウル便の7月以降の運休を検討していることが20日、わかった。円安に伴う日本人客の激減が主な理由。運休は6月の予約率などを見て判断するという。

これをうけて、青森空港国際化促進協議会は、搭乗率70%を目標にした利用促進策を進めることを決めた。

ソウル便は東日本大震災の影響で2011年3月下旬から運休したが、同年10月末に再開。その後は、円高基調を背景にした日本人客需要で利用者総数が段階的に回復し、12年8月にはほぼ震災前の水準となる3540人(搭乗率72.0%、日本人1900人)に戻った。

しかし、同月、当時の李明博・韓国大統領の竹島訪問や安倍政権下での円安傾向で日本人客が減り、同12月の利用者総数は運航再開以降で最低の2217人(同63.4%、同957人)まで落ち込み、今年4月は2232人(同57.5%、同884人)だった。

協議会ではソウル便の搭乗率70%を確保するなどの数値目標を決定。さらに協議会が(1)100万円の予算を準備し、新規にパスポートを取得する日本人客を対象に、6月から旅行代など5000円を補助する(2)市町村や各種団体、企業などに利用を呼びかけて400人の利用客上積みを目指す——などの対策を進めることで一致した。

(読売新聞)5/21

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/aomori/news/20130520-OYT8T01497.htm> (-> <http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/aomori/news/20130520-OYT8T01497.htm>)

#### ボーイング787対応：ユナイテッド航空、運航再開

(bloomberg)によると

ユナイテッド航空は20日、ボーイングの最新鋭旅客機「787」(ドリームライナー)の運航を再開した。ドリームライナーはリチウムイオン電池不具合の問題で3カ月間、運航停止となっていた。

ユナイテッド航空1便は午前11時13分テキサス州ヒューストンからシカゴに向けて飛び立った。同便にはボーイングのジム・マクナニー最高経営責任者(CEO)とユナイテッド・コンチネンタル・ホールディングスジェフ・スマイゼックCEOも搭乗した。

ドリームライナーはエチオピア航空など一部の航空会社で運航が再開されている。米航空会社で唯一、同機を所有するユナイテッド航空での運航再開は、ボーイングにとっては国内でドリームライナーへの信頼を高めるチャンスとなる。

(bloomberg)5/21

<http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MN40XW6TTDS601.html> (-> <http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MN40XW6TTDS601.html>)

#### ノックエアー(LCC)、ミャンマーへの国際線、運航再開

ノックエアーは、ミャンマー路線限定の国際線運航を再開する計画を明らかにした。

まずは9月から、北部ターク県メソート郡とミャンマー第3の都市モーラマイン間の就航を開始する。その後、年内にメソート～ヤンゴン便、ドンムアン～ヤンゴン便を就航する計画だ。

また、チェンマイ発マンダレー行き、バガン行きなどについても検討中である。

使用機材はサーブ340Bターボプロップ旅客機で、座席数は34席、運航社はドンムアン～ヤンゴン路線を除いてノックエアーの関連会社「ノックミニ」となる予定だ。

(バンコク週報)5/20

[http://www.bangkokshuho.com/article\\_detail.php?id=2076](http://www.bangkokshuho.com/article_detail.php?id=2076) (-> [http://www.bangkokshuho.com/article\\_detail.php?id=2076](http://www.bangkokshuho.com/article_detail.php?id=2076))

#### 大韓航空、チェコ航空とコードシェアを開始

大韓航空は6月1日から、チェコ航空とのコードシェアを開始する。対象となるのは仁川—プラハ線。同社は現在同路線を週4便運航しているが、6月1日にチェコ航空が週2便で同路線を新規就航することに合わせ、コードシェアを実施する。

因みに、大韓航空とチェコ航空は共にスカイチームメンバー。

(トラベルビジョン)5/19

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57603> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57603>)

アブダビ国際空港、今夏発着便数、昨年比15%増1065便

アブダビ・エアポート・カンパニー(ADAC)は5月19日、夏季期間中にアブダビ国際空港を発着する便数が昨年比15%アップの週1065便に増加すると発表した。レスポンスが報じた。

主要航空会社は、エティハド航空(UAE)が週63便、ジェットエアウェイズ(インド)が週4便、セーシェル航空(セーシェル共和国)が週6便、エジプト航空が週2便、カタール航空が週7便、トルコ航空が週2便、エアブルー(パキスタン)が週1便増加の予定だ。

(レスポンス)5/20

<http://response.jp/article/2013/05/20/198332.html> (-> <http://response.jp/article/2013/05/20/198332.html>)

ライオンエアー(LCC)、通年決算、純利益前年比13%増-過去最高

アイルランドの格安航空会社大手ライオンエアーが発表した今年3月までの通年決算は、純利益が前年比13%増の5億6900万ユーロ(7億3000万ドル)で過去最高となった。手荷物や座席指定などの付帯料金収入が20%増と大幅に伸びた。

総売上高は13%増の49億ユーロ、平均運賃が6%増えたことが追い風となった。

また、マイケル・オライリー最高経営責任者(CEO)は、向こう1年間の利益について最大でも5%の伸びと控えめな予想を示した。燃料や航空管制などの費用が押し下げるといふ。

(ロイター)5/21

<http://jp.reuters.com/article/businessNews/idJPTJE94J00L20130520> (-> <http://jp.reuters.com/article/businessNews/idJPTJE94J00L20130520>)

シンガポール航空とシルクエアー、深セン航空とコードシェア提携を開始

シンガポール航空とシルクエアーは20日、深セン航空と、コードシェア便での提携を行ったと発表した。コードシェア便で運航する路線は、シンガポールー深セン間。

今回のコードシェア提携により、シンガポール航空とシルクエアーの利用客は同路線の便数が1日2便となり、利便性の向上が期待される。

(レスポンス)5/20

<http://response.jp/article/2013/05/20/198335.html> (-> <http://response.jp/article/2013/05/20/198335.html>)